

## 航空宇宙のエステック(清水町)



若手社員の技術指導に当たる鈴木誠一社長(右)＝7日、清水町

## MRJに部品供給



同社は航空宇宙機器製作に25年以上携わる実績を持ち、エアバスやボーイングのジェットエンジンの配管ジョイントなどを供給するほか、宇宙ステーションの部品なども手掛ける。さらに、三菱航空機が開発している国産初の小型ジェット旅客機「MRJ」にも部品を供給している。同社は売り上げの約

航空宇宙分野で部品製造を手掛けるエステック(清水町、鈴木誠一社長)が、航空機産業特有の国際特殊工程認証システム「Nadcap(ナドキャップ)」の取得に向けた準備を進めている。県によると、取得すれば県内で初めてになるという。鈴木社長は「本県は航空宇宙分野では後発地。参入企業が増えて裾野が広がるよう取り組みたい」と意気込んでいる。

# 県内初国際認証 工程取得へ

**Q** Nadcap(ナドキャップ) 米国の非営利組織PRI(パフォーマンス・レビュー・インスティテュート)が審査機関として運営している。航空宇宙産業の特殊工程作業に対する国際的な認証制度。特殊工程の標準化や効率化を目指して設けられた。

70%が航空宇宙機器部品を占める。航空機部品は信頼性が必須で、厳密な品質保証が求められる。同社は設計・

開発から検査まで製造工程を一貫して生産できる社員の技術力を強みに、加工が困難とされるチタン合金やインコネルといった航空機ならではの被削材を扱う。航空宇宙・防衛品質マネジメント規格JISQ9100も取得した。ナドキャップの認証により、各メーカーとの直接取引など受注拡大につなげていくという。

浜松航空機産業プロジェクト「SOLE(ソラエ)」の副会長も務める鈴木社長は「航空宇宙産業は品質管理や納期の確実さなど日本人に適している。県東部の企業にも参入を呼び掛けたい。SOLEとしての受注増も図り、新たな仕事を増やしたい」と話した。(東部総局・杉山武博)